



宇野 進一 議員

問 答 森林湖沼環境税の継続について 県と協力し住民の理解と 周知徹底に努める

問 課税継続についての目的、改正内容は、
町長 森林湖沼環境整備が十分に改善されず、課題が残ることから、今後、更なる5年間の延長を決定しました。

町民税務課長 納税内容等については前回と同様で、県民税の均等割に加算する方式で、税率は個人が年額10000円、法人が法人県民税均等割の10%です。

問 これまでの事業経過と実績について。

町民税務課長 森林保全整備関係に約41億円、湖沼・河川保全整備関係に約36億9000万円です。また、効果として3万7000炭素トンの炭素吸収量の増加や、排出汚濁負荷量、CODで299トン、全窒素で162トン、全リンで12・9トンの削減をしています。

問 五霞町への補助事業については。

産業課長 平成20年度に、公民館南側の竹林整備を実施しています。補助費用として29万7千円、また、平成22年度に

は学校林等の整備として、東西小学校に合わせ100万円の補助を受けています。内容は、茨城県産の木材を使用したベンチ、テーブルの設置、ミカン等の記念植樹などです。

問 今後の事業計画等について。

町民税務課長 今後5年間の本税充当額として森林保全整備関係に40億円を予定しています。また、引き続き炭素吸収量の削減に効果を見込んでいます。

問 事業内容等、住民納税者に対して、今回も周知徹底が不十分であったと思うが。

町長 本税については、特定課税とする目的税的性格を有し、多くの町民の方に税の使い道や効果についてご理解をいただくことが大切だと思います。また、五霞町で取り組む事業も少ないことから、実施要領の見直しを含め県に要望していきたい。今後の取り組みについては県と協力して周知の方も徹底していきたい。

問 答 圏央道とIC周辺開発の進捗状況は 五霞IC開通は平成25年度以降

問 五霞町及び近隣する圏央道の進捗状況について。

建設環境課長 久喜白岡ジャンクションから幸手IC区間は、約99%の用地取得率で、上部工中心の工事施工中です。五霞ICから境IC区間は約99%の用地取得率で、地盤改良及び下部工中心の工事施工中です。

町長 町内の用地は全て買収済みで、埼玉県より五霞ICまでの区間については、平成25年度以降の早期開通を目標として、また、五霞ICから猿島岩井ICまでの区間については、平成26年度以降の開通目標であるが、更なる事業促進が図られるよう、強く要望していきます。

問 IC周辺開発事業の進捗状況について、計画の概要等は。

町長 新4号国道に接続する圏央道IC周辺地区、約38ヘクタール区域への企業誘致を図り地域経済の浮揚と、道の駅等と連携した街の振興、発展に資する事業として現在進めています。

建設環境課長 面積約38ヘクタール分について、

市街化区域へ編入し、土地区画整理事業の認可取得予定です。

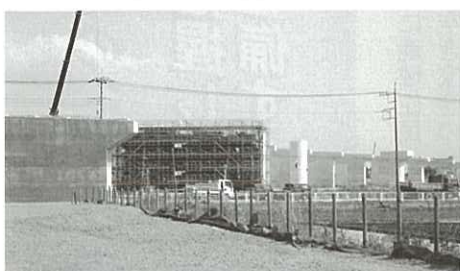
問 関係機関との調整状況は。

建設環境課長 農林水産省関東農政局との事前協議が完了し、都市計画手続きと基本設計、事業計画を並行して進めています。

問 今後の状況について。

建設環境課長 新年度の取組みとして、企業誘致パンフレットの作成と組合設立準備委員会の運営補助を予定しています。

また、業務代行者の決定、基本協定書の仮締結を行い、事業実施の確実性を整理していきます。なお、事業完了については、平成28年度を目標としています。



圏央道工事現場（江川地内）